



札幌西支部  
米倉 弘之

## 元プロ野球選手の第二の人生

とある木曜日、見知らぬ電話番号から着信が。電車内だったので出られずにいると携帯に広報委員長のY氏からメッセージ（電話も彼でした）。広報部長「原稿eひとeはなし（この原稿です）ください」。私「いつですか？」。広報部長「連絡いってませんでしたか？　本当は昨日まででした。内容は何でもいいので書いてください」。。。私「聞いてませんよ」。。。何やってんだ何やってんだ、ここは仕事からストレスから体脂肪から〇〇まであらゆるものが溜まりに溜まっている俺がいくしかないな。と、最初は断るつもりでしたが、なぜか早口な脳内私がY氏に味方し原稿を書くハメに。

さて、愚痴はこのくらいにして。私は今、大変お世話になった（株）TKCの加藤さんが異動になった群馬県は高崎市に来ております。今回は、そこで活躍されている河野博文さんの話題を少し。河野さんは日ハム、巨人で投手として活躍した方で、“げんちゃん”的愛称で親しまれていました。40代以上の方ですと覚えていらっしゃるのではないでしょうか？　彼は現在群馬県にて有機農業を行う会社と居酒屋を1店舗営まれております。有機農業を始めたきっかけは、亡くなられた奥様が、現役時代に無農薬野菜を使うなど食事に気を使ってくれていたことが頭にあった中で、地方で休耕田が拡大し、農家さんは旧態依然のやり方を踏襲し時代にキャッチアップしていないこと、引退したプロ野球選手の受け口が少ないなどの問題を目の当たりにして、農業と野球選手の知名度をコラボさせることでこれらの問題点を少しでも解決できないかと考えたことだそうです。自分のことだけではなくまず他人のことを思う優しい河野さんならではのエピソードだと思います。いまは主に“げんちゃん玉ねぎ”を生産しています。大きくて甘いおいしい玉ねぎですので、見かけた際には是非ご購入ください。

野球では、CSへと盛り上がりを見せておりますが、一方で戦力外通告の話題も目にするようになりました。私より遙かに年下の方も多くいます。そういった方々が第二の人生で農業に携わる、そうなると楽しいだろうなと思います。

